

# 時層の家 (リフォーム) 町並が持っているイメージの延長上にインテリアデザイン・家具・小物を選定する

## 【掲載誌・受賞歴】

国内誌：都心に住む 2014年2月号 P.30

## 【背景】

築年数 21 年のバブル期に建設されたマンションのリノベーションです。室内面積が 143.91 m<sup>2</sup>あり、現在供給されている同規模 3LDK 住戸と比較して 30 m<sup>2</sup>以上も室内面積が広い部屋です。マンションは目黒区碑文谷に立地しており、前面道路は毎年春になると見事な桜並木となる好立地であり、隣地には由緒ある寺院があるなど歴史を感じる場所でもあります。この住戸はマンション全体のコンセプトを体現するコンセプトルームであり、最終的にはこのコンセプトルーム自体も家具・小物も含めて販売される与件となっていました。事業主の具体的な要望は下記の通りです。

## 【事業主要望】

- ・ 碑文谷という歴史性のある場所を感じられるインテリアデザイン。
- ・ 流行に流されていない普遍的なデザイン。
- ・ インテリア、家具、小物全てに統一したコンセプトでデザインして欲しい。
- ・ 新築マンションには無い広さがあるのに、無駄に広い状況になっているのを何とかしてほしい。
- ・ 少し前に流行した黒いインテリアとは異なるイメージを作って欲しい。
- ・ 碑文谷で 100 m<sup>2</sup>超を購入する層を意識した室内の機能的なデザインを盛り込んで欲しい。



## 【コンセプト】

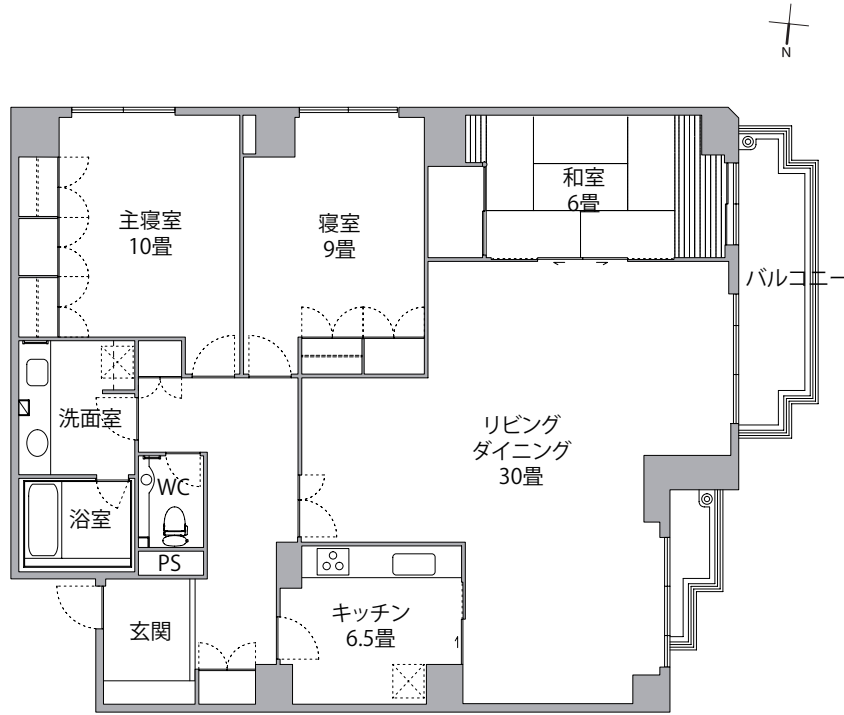
西暦 1150 年に建立された由緒ある寺院に隣接した敷地。歴史ある街並みに好感して移り住む人が多い目黒区碑文谷において、これら街並みの延長上にインテリアデザインがある事を目指しています。そこで由緒ある歴史と共に経過していく「中小の時間」をインテリア設計のコンセプトとしています。数十年の変化として徐々に鉛色に変化していくチーク材を床材に選定しました。1 年の変化として四季折々に変化する桜並木を楽しめる開口部とサンルームのようなスペースを設計しています。1 日の変化として日々の光の変化で表情を出す職人が手作りした和紙をダイニングの壁面に設置しています。時間が経つほど味わい深くなる檜のテーブル、時間を重ねた米沢箆笥、鉄鍋や陶磁器といった小物など、素材・家具・小物も時間が経てば経つほど変化するものを選定しています。それらの時間を横断するように住む人の時間が加わり「時間の重層化」を生みだし、その時間を楽しむ事が暮らしに深みを与えたいと思います。



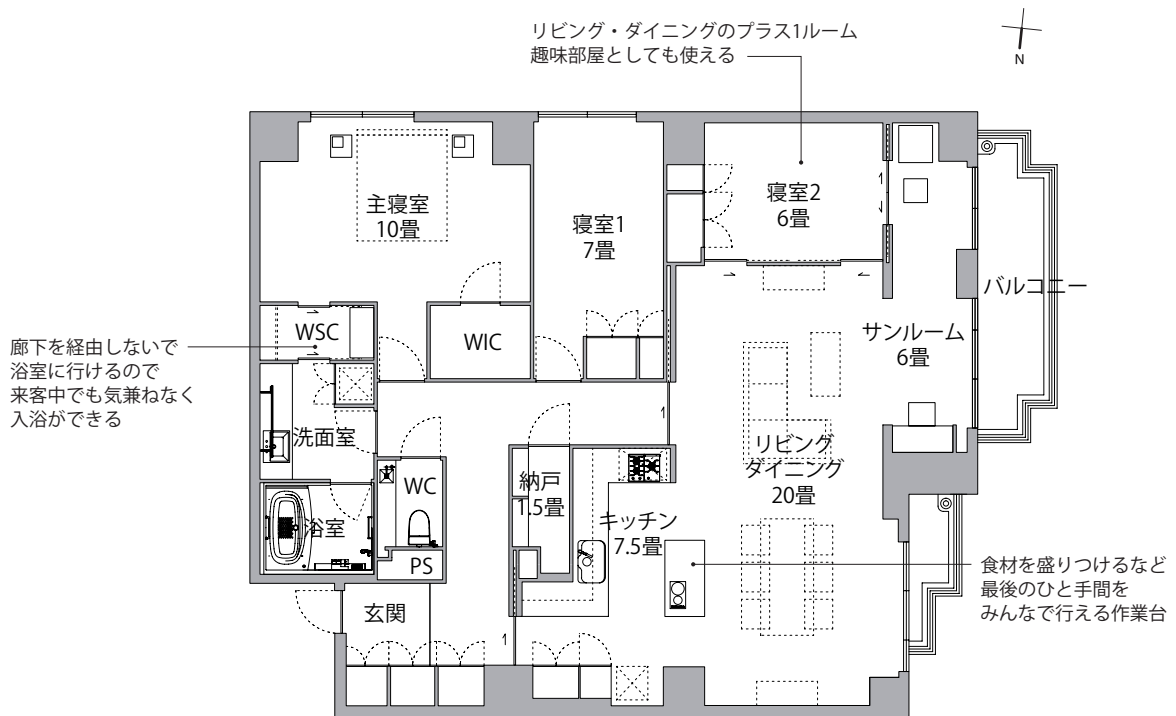
プレゼンテーションで使用した模型の内観写真 Z型のオープンキッチンとアイランド状の作業スペース。左のドアを抜けると玄関へショートカットできます。



プレゼンテーションで使用した模型の内観写真 リビングとベランダの間に外のよ  
うなサンルームを設けました。デスクを設置して桜を見ながら作業ができます。



改修前平面図



改修後平面図

0 1 2 4 (M)

計画地：東京都 / 主要用途：コンセプトルーム & 専用住宅 / 工事種別：全面改修 / 延べ床面積：143.91 m<sup>2</sup>



全長7mのZ型のキッチン アイランド状の作業台にはガスコンロとは別にIHの2口コンロを設置。簡単な温めや最後の仕上げを作業台を取り囲んで行えます。



27.5畳のリビングダイニングキッチン。L型にクランクしているので奥行き感があるスペースとなっています。和紙を使った建具・壁がアクセントになっています。



季節の花や茶器を飾れる茶室の床の間のようなダイニング。米沢箆筒と和紙の壁が和を感じさせます。



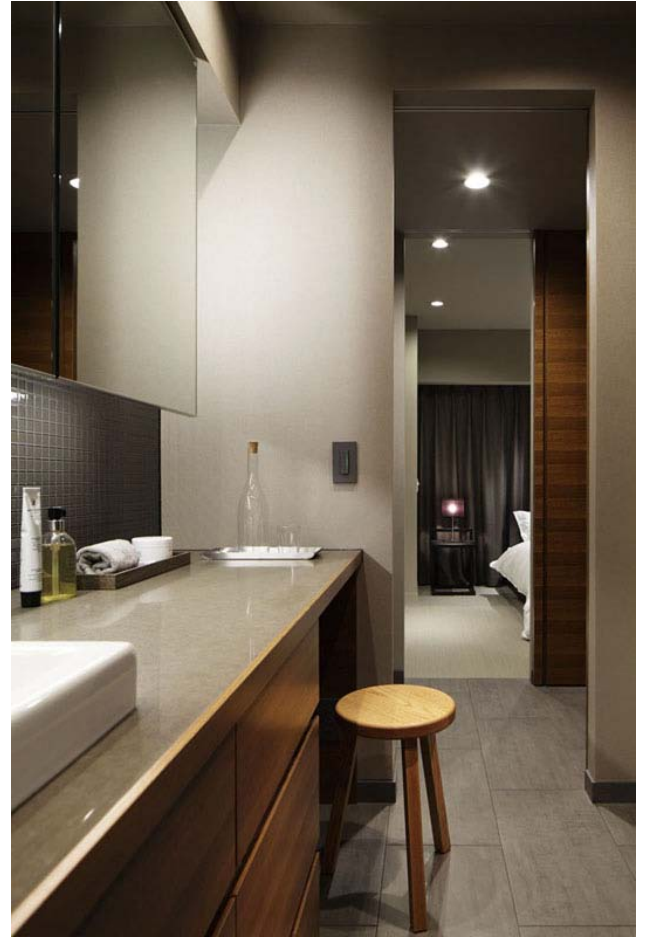
タイル張りとした室内なのに外のようなサンルーム。小さなカウンターは書斎としても利用できます。



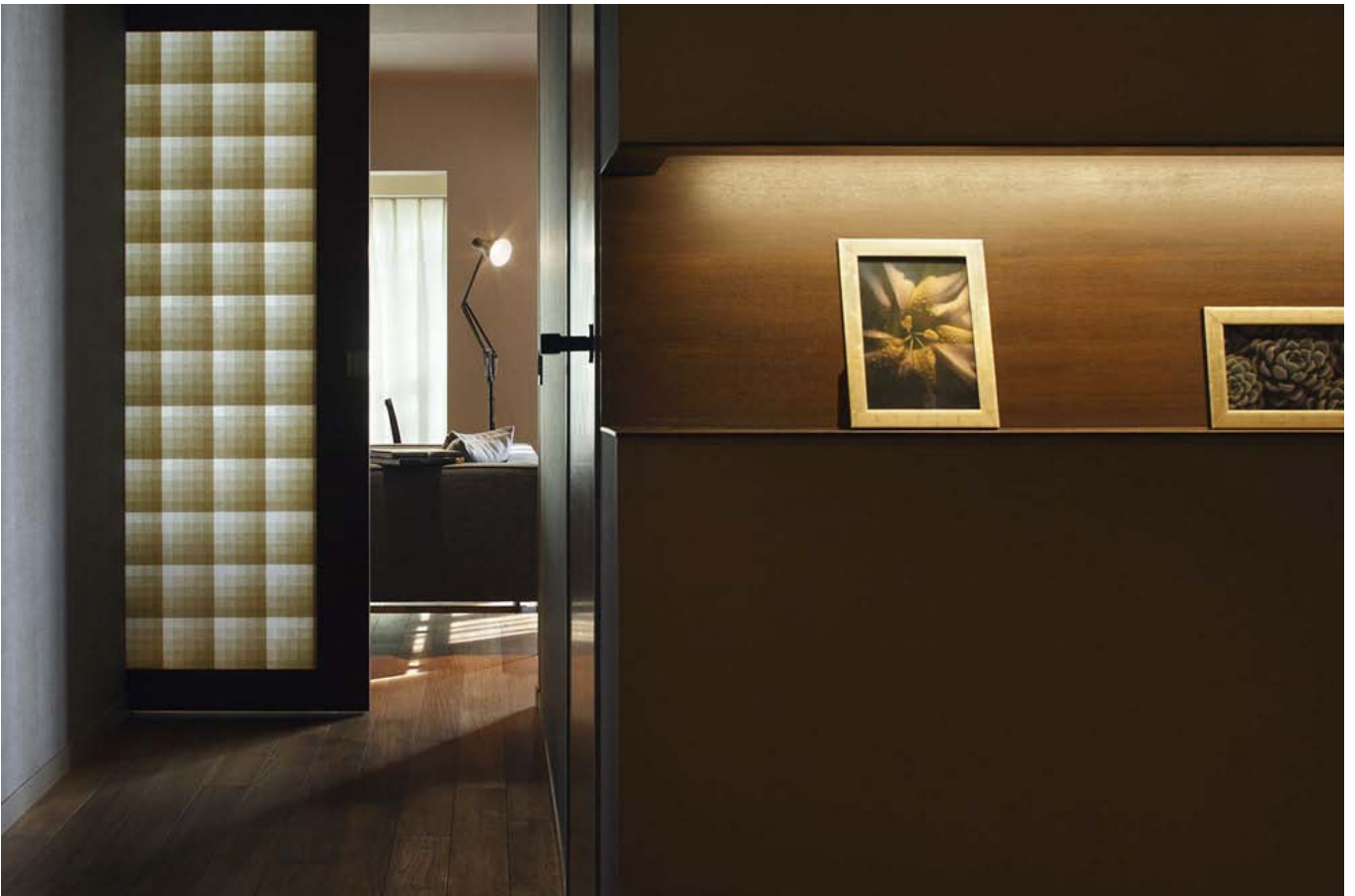
リビングと連続するサンルーム。内装を明るくしたサンルームをリビングとの間に設ける事で、外の明るさを増幅して室内に取り込んでいます。



座って準備ができるように洗面カウンターは部分的に掘り込まれています。



主寝室はウォークスルークローゼットを経由して洗面室・浴室と繋がっています。



光の届かない暗い廊下を逆手に取り、光のあふれるリビングに面した引き戸に美しい光のグラデーションが生まれる和紙を活用。